

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しく下さい。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

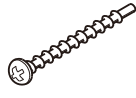
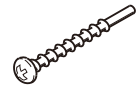

●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。

- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上へのお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しく下さい。
- 枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず施工される方へ障子取付けねじをお渡しく下さい。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付け及び組立ての手順が異なります。

■ねじ一覧表

| 記号 | イ | ロ | ハ |
|------|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |
| | バインド タッピンねじ φ4×30 | ナベ タッピンねじ φ4×25 | 皿小ねじ M4×8 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー |

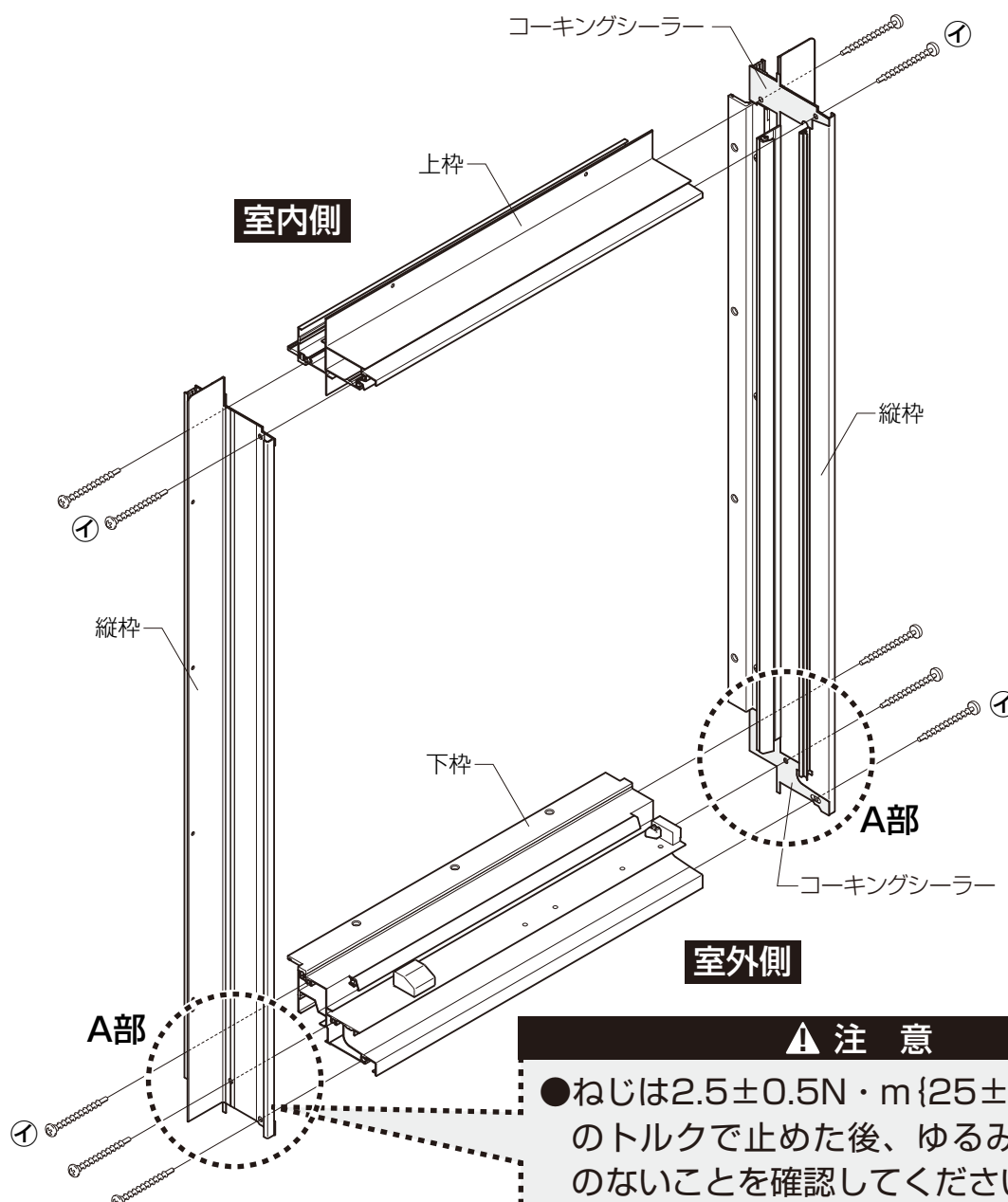
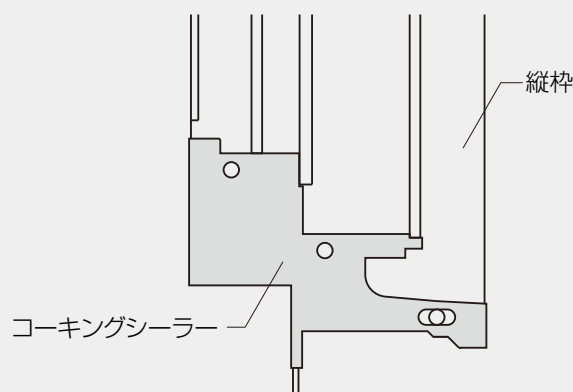
■組立て順序

1 枠の組立て

▲注意

- 縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■A部詳細図



2 障子の組立て

1 グレイジングチャンネルの取付け

- ① ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル（別売り）を用意し、ガラス4周に回します。
※コーナー部はグレイジングチャンネルがくい込まないようにしてください。

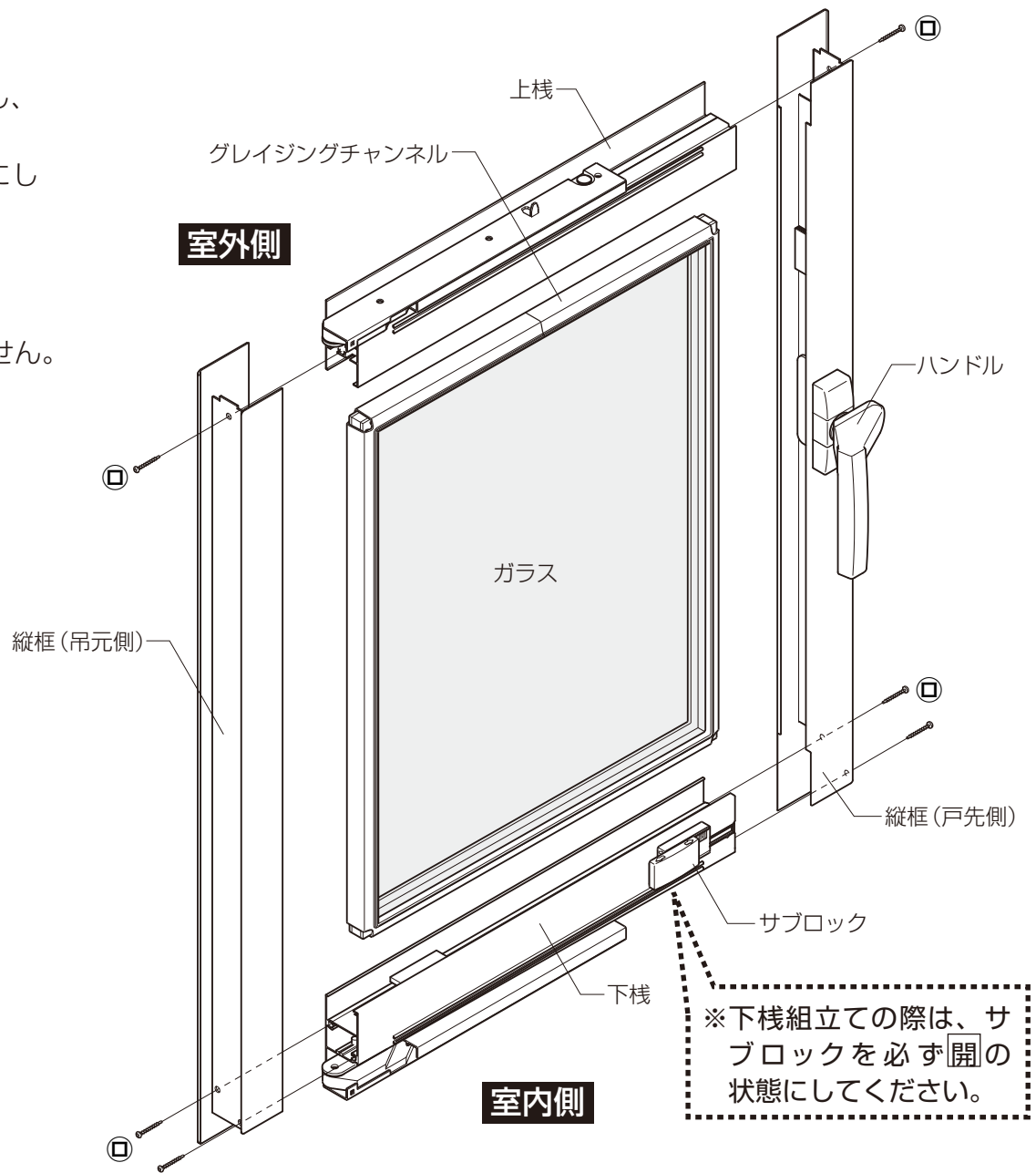
2 障子の組立て

- ① 上下棧を左右均等になるように差込みます。
※縦框を先に差込むと、サブロック部と干渉し組立てられません。
- ② 縦框を差込み、上下棧とねじで固定します。

お願い

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。

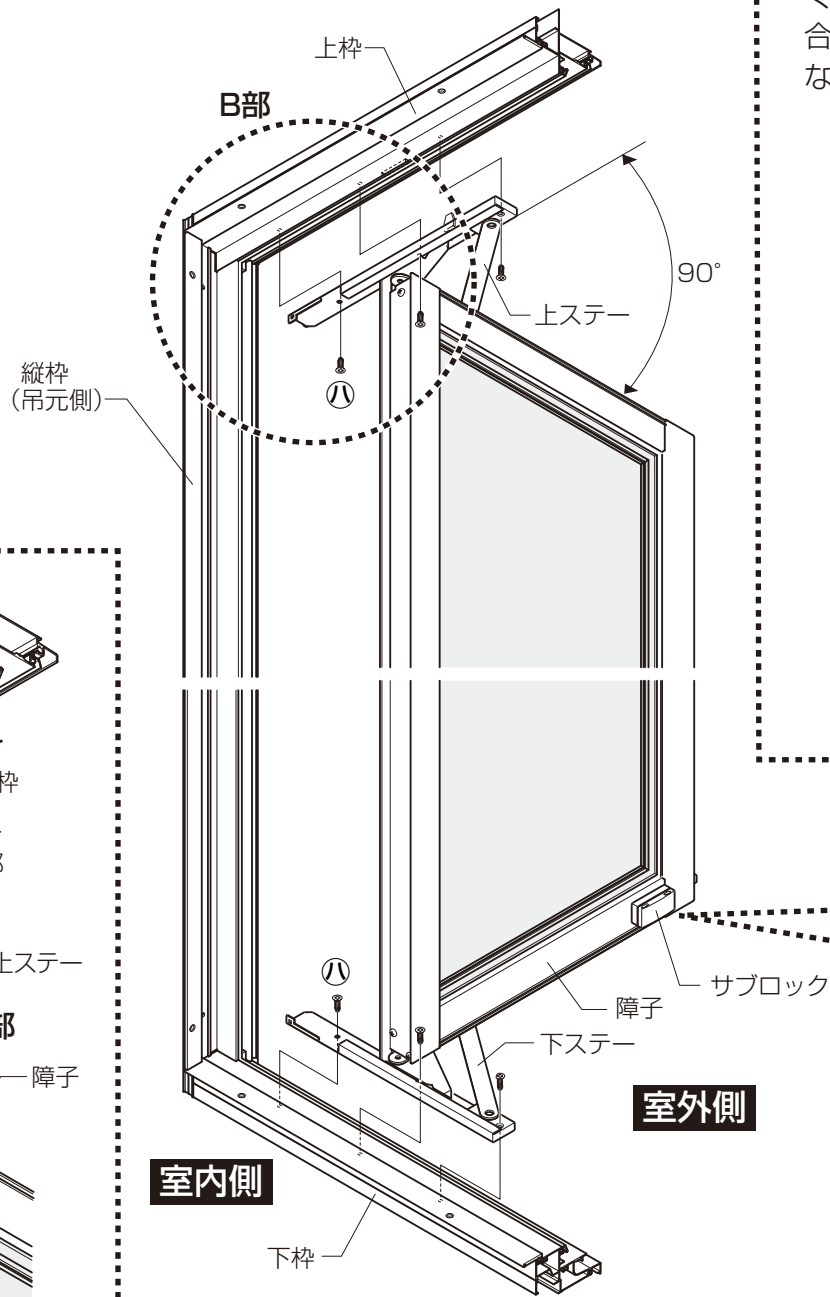
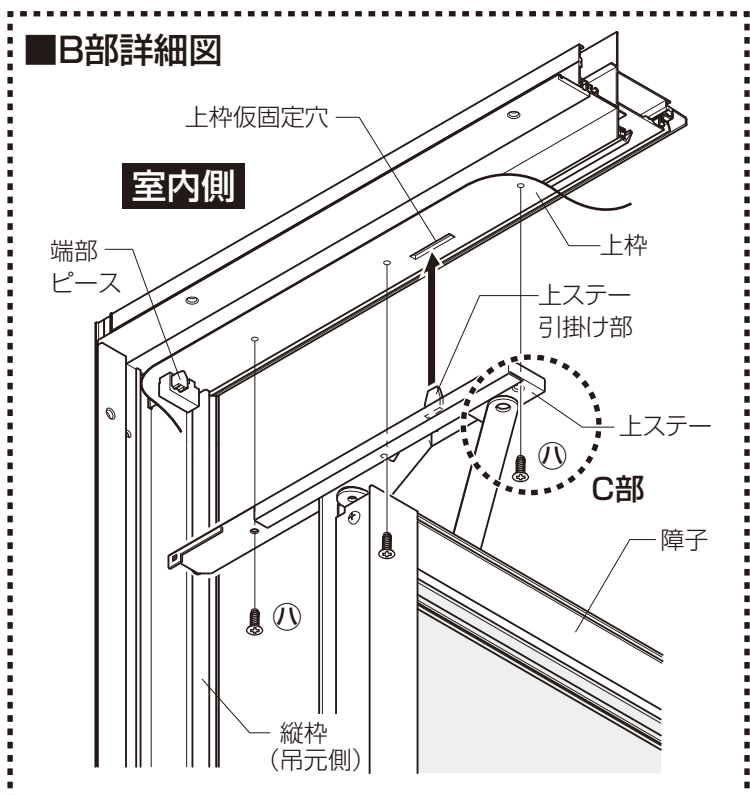
ハンマー
当て木



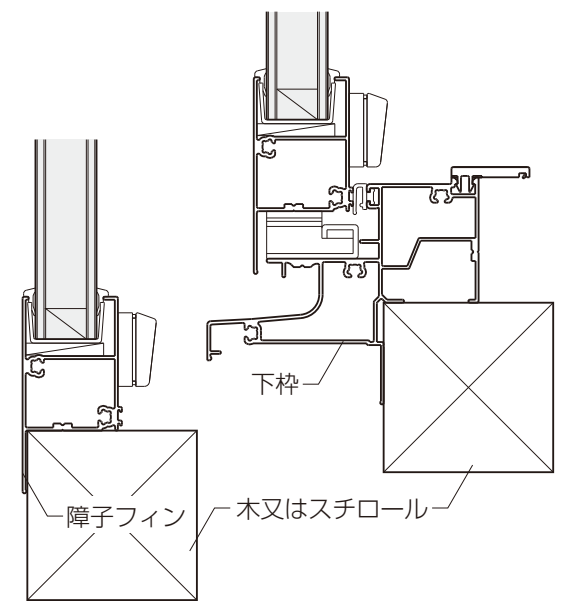
3 障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

- ① 障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
- ② 上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。
- ③ 下ステーを下枠にのせた後、上下枠（吊元側）の端部ピースに上・下ステーを差込みます。
- ④ C部のねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）
- ⑤ 残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。



※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

